

令和4年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者制度導入の適否」に係る審査)

- 1 開催日時 令和4年5月11日(水) 15:19~15:26
- 2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第2委員会室
- 3 対象施設 青森市浪岡野沢公民館
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 舘山 公 (企画部次長)
副委員長 工藤 拓実 (総務部次長)
委員 池田 享誉 (青森公立大学准教授)
委員 兼平 浩美 (東北税理士会青森支部税理士)
委員 柴田 一史 (税務部次長)
委員 奈良 英文 (経済部次長)
委員 中村 敦 (農林水産部次長)
 - (2) 施設所管課 教育委員会事務局 浪岡教育課 課長 石村 淳
主幹 中村 篤
主査 小笠原 晶子
主事 石村 瑞希
 - (3) 制度所管課 企画部 財政課 副参事 阿部 有一郎
主幹 宮崎 恭次
主査 盛 将秀
- 5 案件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査について
- 6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で以下のとおり了承された。
 - (1) 指定管理者導入の適否：適
 - (2) 指定期間：5年
 - (3) 利用料金制：なし
 - (4) 募集形態：非公募
 - (5) グルーピングの適否：なし(単独施設)

7 主な質疑内容

委員：野沢公民館の指定管理料について、令和2年度及び3年度の決算額に比べて令和4年度の予算額が約40万円多いが、この理由は。

施設所管課：令和2年度及び3年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休館や講座の中止により、光熱水費やソフト事業費の支出が少なかったことによるものである。